

とかち号のグリーン車も片側 1 列、片側 2 列で、非常に広々としています。右側 2 列はほとんど誰もいなかったもので、ふんぞり返っていました。



列車はしばらく十勝平野の農村地帯を走ります。遠くに見えた日高山脈が、だんだん近づいてきます。列車はこの日高山脈に突入することになります。



十勝清水駅に着きました。ここで下り「おおぞら号」とすれ違います。このあたりでは大きな駅なのですが、どちらの列車にも乗降客はありませんでした。



列車は新得駅（しんとくえき）から「石勝線（せきしょうせん）」に入り、いよいよ山間部にさしかかります。最初に停まるのは「トマム駅」です。トマム駅



帯広からはやっと特急に乗れます。もともとは、釧路で少し寝坊して、札幌行きの特急に乗る予定だったのですが、寝坊できなかったのも、帯広発の特急に指定券を変更してもらったのです。



根室本線には、現在 2 種類の特急が走っています。札幌～釧路間の「おおぞら号」と、札幌～帯広間の「とかち号」です。当然、帯広から札幌方面は特急の本数が多くなります。今回乗ったのも「とかち号」です。



には、「トナムリゾート」というスキー場やホテルがあり、全特急列車が停車します。しかし、このリゾートに列車で訪れる人は稀で、改札口にリゾートの送迎バスが待っていましたが、下車した人は0でした。



トナムの次は「占冠（しむかつぶ）」です。特急なのに全部の駅に停車します。それもそのはず、この石勝線の新得～新夕張間は、普通列車は1本もなく、すべて特急なのです。そのため、この区間だけを利用する乗客は、特急料金は不要で乗車できます。



列車は「山越え」を終えて「追分駅」に着きました。この駅は「室蘭本線」との交叉駅ですが、両線をまたいで直通する列車は1本もありません。異なる線区が交叉している駅は、JRでは珍しいと思います。



千歳空港が近づいてきました。飛行機と「クラーク博士」の看板が見えました。



南千歳駅に着きました。かつての「千歳空港駅」です。3日前に函館からの特急で降り立った駅です。これで一応「北海道一周」をしたことになります。



私の特急券は札幌まででしたが、南千歳で函館方面の特急に乗り換えました。この列車の指定券は持っていませんでしたが、空席には座って良い特例があるのです。幸い比較的空いていて、楽に座れました。



室蘭本線の「白老駅（しらおいえき）」で下車しました。白老には有名な「アイヌコタン」がありますが、今回は時間がなく、行けませんでした。